

B-LOOP

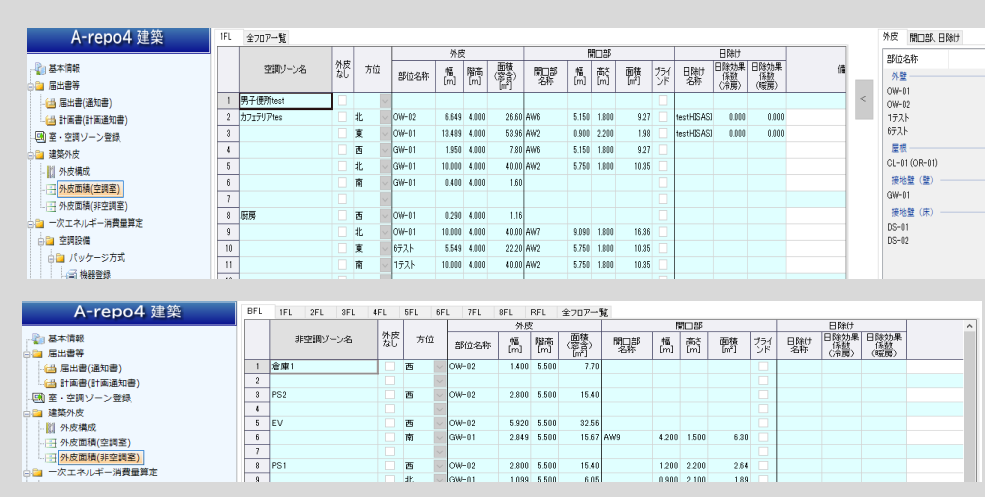
CADECT⇔A-repo4建築データ変換対応表
第1.5版

建築に一步先の提案を



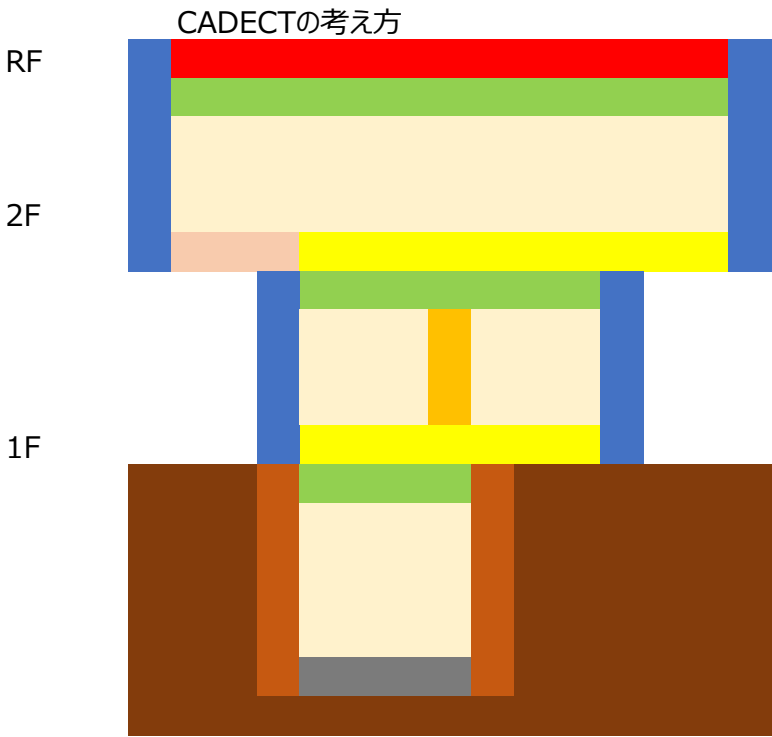
	A-repo4 建築への転記項目 ※室の並び順はCADECTと連携	連携の有無 ↔	BLOOPポータル or BLOOPデータ or CADECTの参照元	連携の有無 ↔	Revit（rblp/blpr）の参照元
大項目	中項目	小項目	詳細	解説	解説
室・空調ゾーン登録	※エリアに『吹抜け設定』された面積不算入の室は、同じ『吹抜け（面積参入）』の室に追加されるため一覧に室名/空調ゾーン名は表示されません。 	室名/空調ゾーン名		連携 CADECT『エリア』の部屋名 建物用途が住宅以外のもの 同一階の中で名前が重複する室が存在した場合は、末尾に連番を付ける A-repoでの室名の変更は戻さない	連携 json出力時に選択した『部屋』/『スペース』/『エリア』の名前
		建物用途		連携 CADECT『エリア』の建物用途	非連携
		室用途		連携 CADECT『エリア』の室用途/居室区分	非連携
		住宅共用部		非連携	非連携
		室面積		連携 CADECT『エリア』リスト表示『部屋』の床面積	非連携
		階高		非連携 CADECT『エリア』リスト表示『部屋』の階高 階高は部屋ごとに保持しないため非連携	非連携
		天井高		非連携 CADECT『エリア』リスト表示『部屋』の天井高 エリアに『吹抜け設定』がある場合、同じ『吹抜け（面積参入）』エリアの設定がある家の以下の合計 最下階の階高から床高を減算、中間階の階高、最上階の天井高	連携 json出力時に選択した空間モデルが『スペース』の場合、『スペース』の『天井高_長さ』。 『スペース』以外の場合、その空間の天井の『オフセット（基準レベル）』。
		空調 計算対象		連携 CADECT『エリア』の空調・非空調 空調の場合はチェックが入る 非空調の場合はチェックが外れる	連携 json出力時に選択した空間モデルが『スペース』の場合、『スペース』の『条件タイプ』が暖房/冷房/冷暖房の場合空調、それ以外の場合非空調。 「スペース」以外の場合、非空調。
		換気 計算対象		非連携	
		照明 計算対象		連携 CADECT『エリア』の屋外空間が設定されている場合、 室用途/居室区分が設定済であれば、照明のみ連携対象のチェックが入る 室用途/居室区分が未設定であれば、連携対象のチェックは全て入らない	
		給湯 計算対象		非連携	
		モデル建物		非連携	
		分類用建物用途		非連携	
		備考		非連携	
建築外皮 （外皮構成）		外壁	部位名称	連携 ・CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『外壁』のもの	連携 Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『機能』が“外部”の場合外壁。
			熱貫流率	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱貫流率』	連携 Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』を使用。
		構造体登録	建材番号	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『建材番号』 ただし、建材マスターが「省エネ」の場合のみ連携、その他の場合は0	非連携
			建材名称	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『建材名』	連携 Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『構造』を使用。
			厚み	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『厚さ』	連携 Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『構造』を使用。
			熱伝導率	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱伝導率』	連携 Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』を使用。
			熱抵抗	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱抵抗』	連携 Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』から計算。
			画像番号	非連携	非連携
		屋根	部位名称	・CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『屋根』のもの ・CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『屋根』と『天井』のもののうち、隣り合って設置された構造体が結合されたもの	連携 Revitの『屋根ファミリ』を使用。 ※床で配置されている屋根は入りません。
			熱貫流率	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱貫流率』	連携 Revitの『屋根ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』を使用。
		外床	部位名称	・CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『外床』『内床』のものうち、外気に接しているもの ・CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体記号』	連携 Revitの『床ファミリ』を使用。 ※床で配置されている屋根は入りません。
			熱貫流率	連携 CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱貫流率』	連携 Revitの『床ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』を使用。

	A-repo4 建築への転記項目 ※室の並び順はCADECTと連携			連携の有無 ↔	BLOOPポータル or BLOOPデータ or CADECTの参照元	連携の有無 ↔	Revit（rblp/blpr）の参照元
大項目	中項目	小項目	詳細		解説		解説
	接地壁(壁)	部位名称	ブラインド種類	連携	・ CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『地中壁』のもの ・ CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体記号』 ※非空調室に属する地中壁は、建築研究所の以下マニュアルに基づき評価対象外とし連携しない。 『非住宅建築物に関する省エネルギー基準に準拠したプログラム』 標準入力法の入力マニュアル https://building.lowenergy.jp/program	連携	Revitの『壁ファミリ』を使用。
		熱貫流率		連携	CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱貫流率』	連携	Revitの『壁ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』を使用。
		部位名称		連携	・ CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『土間床』のもの ・ CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体記号』	連携	Revitの『スラブ・床ファミリ』を使用。
		熱貫流率		連携	CADECT『構造体リスト』『属性設定』『熱貫流率』	連携	Revitの『スラブ・床ファミリ』タイプパラメータ『構造』に設定されているマテリアルの『熱伝導率』を使用。
		部位名称			・ CADECTの『室/部材』『構造体』『構造体リスト』『構造体記号』『構造体種別』が『窓』、『ドア』、『カーテンウォール』のもの ・ CADECTの『室/部材』『建具』『構造体記号』 ・ ガラス率が100%未満の場合、ガラスでない方は、部分の名称の末尾に『（ガラス以外）』が結合される	連携	窓の場合、Revitの『窓ファミリ』を使用。 ドアの場合、Revitの『ドアファミリ』を使用。 カーテンウォールの場合、Revitの『壁の中でカーテンウォールに設定されている壁』を使用。
		開口部詳細	入力方法		省エネH28基準のガラス記号が入っている→解説書データ ただし、建具仕様が入っていない場合は変換しない 建具種類が入っている→ガラス直接入力☑ 建具種類が入っていない→窓直接入力☑	非連携	
		窓の熱貫流率		非連携		非連携	
		窓の日射熱取得率		非連携		非連携	
		建具の種類		連携	CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『建具種類』	非連携	
		ガラスの記号		連携	CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『ガラス記号』	非連携	
	(窓の性能)	ガラスの種類		連携	CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『ガラス記号』『ガラス記号選択』『名称』	非連携	
		ブラインドあり	熱貫流率		【ガラス部分の開口部】 CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『ガラス記号』『ガラス記号選択』『SC（ブラインドあり）』 【ガラス以外の開口部】ブラインドなしの場合も同様 ガラス以外の開口については以下のように変換する。 ・ 窓、ドアのガラス以外の開口部については、熱貫流率(ガラス以外)は使用せず、ガラス記号「S」を固定とする。☑ ・ カーテンウォールの場合、ガラス以外の開口部については熱貫流率(ガラス以外)を使用して作成する。 上記の仕様は以下の資料のPDFページ61、表記上37Pを根拠資料として変換している。☑ https://www.kenken.go.jp/becc/documents/building/Manual/webprov3_manual_20220401.pdf	非連携	
			日射熱取得率	連携	CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『ガラス記号』『ガラス記号選択』『K（ガラスブラインド）』	非連携	
		ブラインドなし	熱貫流率	連携	CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『ガラス記号』『ガラス記号選択』『SC（ブラインドなし）』	非連携	
		熱通過率	日射熱取得率	連携	CADECTの『室/部材』『建具』『建具情報設定』『ガラス記号』『ガラス記号選択』『K（ガラス）』	非連携	
		ブラインド		非連携		非連携	
		備考		非連携		非連携	
		日除け名称		連携	BLOOPの『材料構成(ひさし)』『名称』	非連携	
		Web取得		連携	A-repo連携時に自動的にWeb取得にチェックが入る	非連携	
		形状		連携	Zx+またはZx-に値があればA-repo内でサイドフィン有りとして扱う	非連携	
		寸法	x1～zy-	連携	BLOOPの『材料構成(ひさし)』『X1』『X2』『X3』『Y1』『Y2』『Zx+』『Zx』『Zy+』『Y3』にはSTABROの'h'が入っているためそのまま保持する	非連携	
		日除け効果係数	全方位 冷房・暖房それぞれ	非連携	効果係数は保持せず連携後にA-repo側からWeb取得をさせる	非連携	
				非連携		非連携	

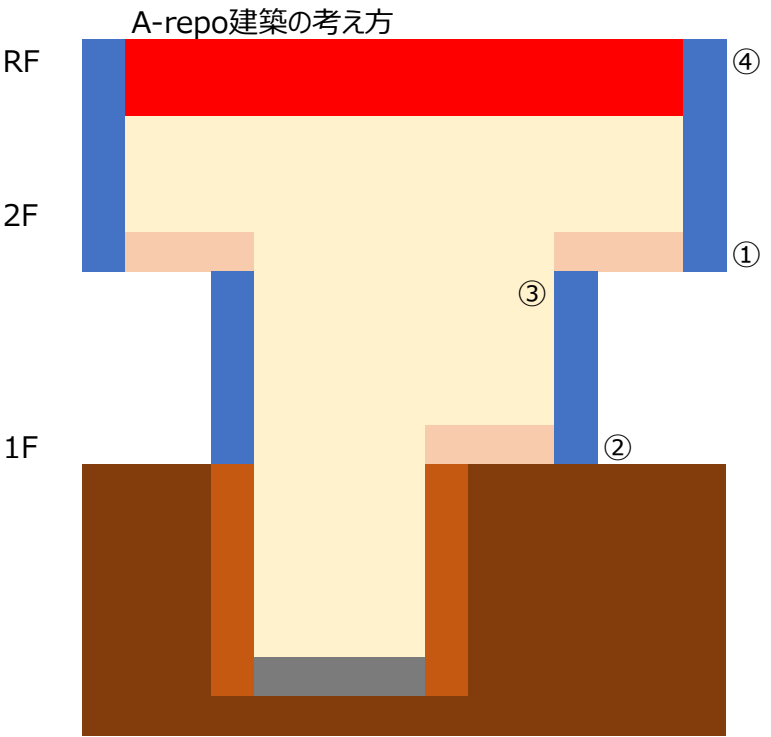
	A-repo4 建築への転記項目 ※室の並び順はCADECTと連携	連携の有無 ↔	BLOOPポータル or BLOOPデータ or CADECTの参照元	連携の有無 ↔	Revit（rblp/blpr）の参照元
大項目	中項目	小項目	詳細	解説	解説
建築外皮 (外皮面積-空調室) (外皮面積-非空調室)		空調ゾーン名		連携 CADECT『リスト表示』『部屋』の『部屋名』 エリアに『屋外空間』がある場合、外皮・開口部・日除けは連携されず部屋名のみが表示されます	連携 json出力時に選択した『部屋』/『スペース』/『エリア』の名前
		外皮なし		非連携	非連携
		方位		連携 外壁: CADECTの『方位』と、壁の向きから算出 外床: 日陰 屋根: 水平	連携 Revitの『真北』に（計算式）を適用
		外皮	部位名称	連携 外壁: CADECT『エリア』リスト表示『壁』の名称 外床: CADECT『エリア』リスト表示『床』の名称 屋根: CADECT『エリア』リスト表示『屋根』の名称	非連携
			幅m	— 外壁: CADECT『エリア』リスト表示『幅mm』の1/1000倍	非連携
			階高m	連携 外壁: CADECT『エリア』リスト表示『高さmm』の1/1000倍 エリアに『吹抜け設定』がある場合、同じ『吹抜け（面積参入）』エリアの設定がある室の階高[m]の合計	非連携
			面積㎡	連携 外壁: CADECT『エリア』リスト表示『壁』の面積 外床: CADECT『エリア』リスト表示『床』の面積 屋根: CADECT『エリア』リスト表示『屋根』の面積	非連携
		開口部	開口部名称	連携 CADECT『エリア』リスト表示『窓』の名称	非連携
			幅m	連携 CADECT『エリア』リスト表示『窓』の『幅mm』の1/1000倍 ガラス率が0%または100%の場合のみ	非連携
			高さm	連携 CADECT『エリア』リスト表示『窓』の『高さmm』の1/1000倍 ガラス率が0%または100%の場合のみ	非連携
			面積㎡	連携 CADECT『エリア』リスト表示『窓』の『面積』	非連携
			ブラインド	連携 CADECT『建具』の個別情報『ブラインド付き』	非連携
		日除け	日除け名称	連携 BLOOP『インスタンス開口』の『ひさしID』 組み合わせられている開口部が分割されていない場合にのみ連携	非連携
			日除け効果係数	非連携 計算結果は保持しないため連携後にWeb取得が必要	非連携
			日除け効果係数	非連携	非連携
		備考		非連携	非連携

構造体種別について

CADECTの構造体種別と、A-repo(建築)の構造体種別は考え方が違います。
CADECTの構造体種別はユーザーが自由に変更できるものとなります。
A-repo(建築)の構造体は、建物の形や部材の位置によって変化するので、必ずしもCADECTで設定した種別とは一致しません。
そのため、同じ構造体記号から複数の種別が発生することもあります。



	CADECT	A-repo(建築)
壁	外壁	外壁
	内壁	なし
	地中壁	設置壁（壁）
床	外床	外床
	内床	なし
		外床
	土間床	設置壁（床）
天井	天井	屋根
		なし
屋根	屋根	屋根



- 外壁と地中壁はそのまま変換します。
内壁は変換しません。
- 床は外床、土間床はそのままそれぞれ変換します。
内床は条件によって、内床と外床に分割されて変換されます。
①外床か内床が分かれる条件は、直下の階に部屋があるかどうかで判断します。
②直下に部屋が無い場合、地面に接していても内床は外床に変換されます。
地面に接している場合は、土間床を選択している前提です。
- ③屋根と隣り合っていない天井は変換しません。
④屋根と隣り合っている天井は、屋根と結合させ屋根として変換します。

垂直重ね壁の変換について

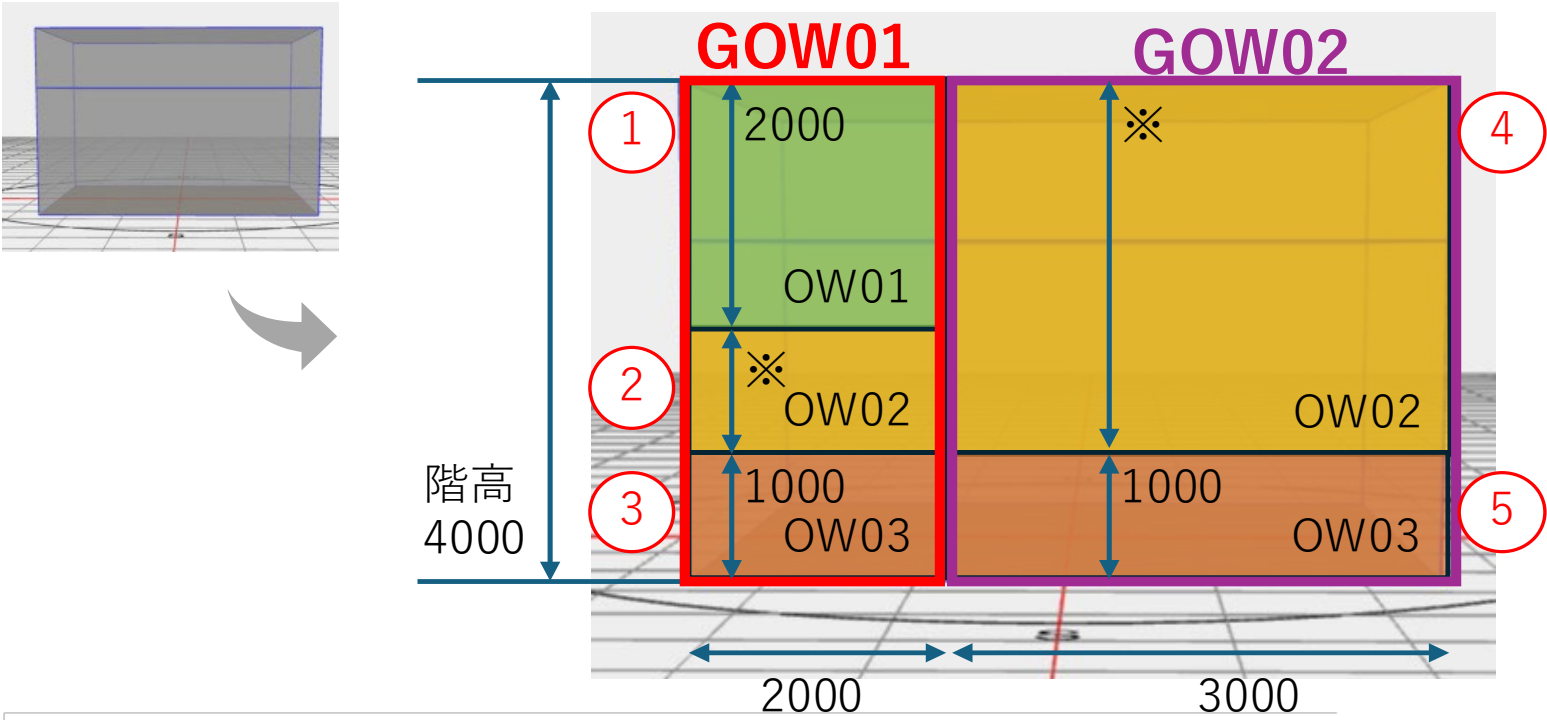
CADECT入力



名称	構造体記号	高さ(mm)
GOW01	OW01	2000
	OW02	-
	OW03	1000
GOW02	OW02	-
	OW03	1000

高さ「-」は高さ自動計算が設定されている構造体
(3Dの※部分)
※垂直重ね壁には必ず一つ高さ自動計算の構造体を含める必要がある

3Dイメージ



STABRO／
A-repo連携

	構造体記号	幅(mm)	高さ(mm)	面積(m ²)
①	OW01	2000	2000	4
②	OW02	2000	※階高(4000) - OW01(2000) - OW03(1000)= 1000	2
③	OW03	2000	1000	2
④	OW02	3000	※階高(4000) - OW03(1000)= 3000	9
⑤	OW03	3000	1000	3

高さ自動計算が設定されている構造体の
高さは、階高から同じ垂直重ね壁に所属
する全ての構造体の高さを差し引いた
残りとする